



心こそ大切

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

(ユネスコ憲章前文より)

8.15 今年も平和の鐘を鳴らそう!

毎年、八月十五日の終戦記念日を中心に、日本各地のユネスコ協会は、一斉に「平和の鐘」を鳴らしています。この行事は、二〇〇〇年の国連における「平和の文化国際年」事業の一環として、日本ユネスコ協会が始めたものです。

広島ユネスコ協会も二〇〇〇年から毎年参加しています。今年もこの「鐘の音(ね)」に広島市民の「平和を願う心」をこめて、多くの皆さま方が、ご参加くださることを願っております。

(時) 八月十五日(日) 11:30 (場所) 平和記念公園の「平和の鐘」前広場



願いを込めて鐘を打つ(昨年八月十五日)

二〇一〇年度総会開く 広島ユネスコ協会

「平和の文化」の基本理念踏まえ 他団体との連携強化も

二〇一〇年度広島ユネスコ協会総会を五月二十一日(土)、広島市まちづくり市民交流プラザで開催しました。

はじめに前年度の事業・決算報告、監査報告があり承認。引き続き本年度の方針や事業計画、予算、一部役員交代な

どについて審議し、いずれも原案どおり承認され、決定しました。総会議事の概要は次のとおりです。

前年度の事業報告

まず、専門部会の主な事業報告をします。

「広島ユネスコ協会紹介」パンフレット作成は、検討会で骨子について協議し、いろいろな案が出ました。「高校生をつどいー国際理解セミナー」は、参加校の増加が見られ高校生の関心が高い内容で好評でした。

「ユネスコ活動奨励賞」は、関係機関・団体の理解と協力委員(推薦委員・選考委員)の熱心な取り組みにより、活動内容の優れた団体が多く推薦、選考され受賞しました。

世界寺子屋運動(募金、書き損じはがき回収、パネル展)は会員や市民・団体の温かい協力、ユネスコサロンは公民館の出前講座で多くの地域住民の参加がありました。

現地講座は埋め立て架橋計画などで揺れる「鞆の浦」と、ナチス・ドイツによるユダヤ人大量虐殺の悲劇を伝える「ホロコースト記念館」の見学。

新春コンサートは「魅惑のタンゴ」と題して九十歳のバンドネオン奏者佐川峯さんの魂の世界を堪能できました。「友好訪問団大邱訪問」は、はじめに企画したホームビデオで会長、副会長の家庭を訪問し、心温かいもてなしに感激。今後、若い世代の参加が望まれます。

「平和関連」では、平和の鐘・国内一斉行動を「平和の鐘」鐘楼前広場で行い、会長挨拶、广大附属高校ユネスコ班代表やフイリピンからの広島市研修生のメッセージ発表

などがありました。

「杉並ユネスコ協会青年部

広島学習」(十二年間継続実施)

では、広大附属高校ユネスコ

班、広島国泰寺高校ユネスコ

クラブが研修に協力参加、交

流を深めました。

「世界遺産」関連では、原

爆ドームの景観保護問題、鞆

の浦の景観問題(「現地講座」

への関心が深まりました。

機関紙「ヒロシマ ユネス

コ」発行年三回。新たな企画、

解説記事など幅広く充実した

紙面づくりを心がけ、ホーム

ページへの機関紙の掲載は情

# 「まず隗より始めよ」

かい

いつまでも会長の任に当

たつてはと思いつつ、また会



長の任に当たらせていただく

ことになりました。

国の内外ともに様々な変革

の時に訪れています。NPT

(核拡散防止条約) 会議も終

わり、前回の時よりは一歩前

報提供手段として効果的でし

## 本年度の事業計画

重点方針として

1. 青少年活動の振興と育成

対策を確立する。

2. 世界遺産(地域文化財)・

景観の保護、啓発、理解を

深める活動に努める。

3. 「平和の文化」を築く活

動を推進する。

4. 組織の活性化に努める。

など、前年度の目標を継続

することで承認されまし

た。

専門部会の主な計画は、組

織部会は前年度からの構想案



総会では事業内容にどについて真剣に審議した

をまとめて「広島ユネスコ協

会紹介」パンフレットの作成、

青少年育成部

会は青少年セ

ンターなどと

連携・共催に

よる「ユネス

コ活動理解の

ための講座、

「青少年対象

語学講座」な

どを開催しま

す。

教育部会は

関係機関・団

体などの協力

を仰いで「ユネスコ活動奨励

賞」のより一層の充実。「高

校生のつどい」国際理解セミ

ナー」、「世界寺子屋運動」を

青少年部会・青少年センター

と連携・共催し参加者の増加

を図ります。

「ユネスコサロン」は公民館

など共催する出前講座を継

続します。現地講座は今年す

でに六月十九日(土)、岡山

県備前市の閑谷学校、備前陶

芸美術館、総社市の宝福寺の

見学を実施、新春フェスタで

の「コンサート」なども計画。

力を呼びかけます。「ペあせ

ろべ」をはじめ関係団体事業

へ参画・参加し、ユネスコ活

動の理解・広報に努めます。

平和・世界遺産部会の平和関

連では日本ユネスコ協会連盟

の「平和の鐘を鳴らそう」全

国一斉夏のキャンペーンに協

力実施、「原爆ドーム絵はが

き普及活動」など。世界遺産

関連では「原爆ドーム景観問

題」、「文化遺産の保護・啓発

活動」を継続して取り組みま

す。広報部会の「機関紙発行」

では会員からの投稿、会員紹

介などの企画、協会事業の情

報発信手段としてのホーム

ページの更新に意を注ぎ、可

能な限り新しい情報を提供

し、魅力ある広報活動を行

います。

さらに、広島ユネスコ協会

の新しい課題として「ユネス

コスクール」支援策の確立に

向けて取り組みを開始します。

【役員交代】

高橋博暢組織部会理事退会

に伴い、後任に松岡盛人理事

を選任。

岡平裕次広報部会長辞任

(理事として留任)により、

後任に藤川和康理事を部会長

として選任。いずれも満場一

致で承認されました。

「まず隗より始めよ」

世界や日本国内に訴えて行

かねばなりません。

「まず隗より始めよ」で

あります。八月六日の原爆

の日、次いで八月十五日の

敗戦の日、ヒロシマの地よ

り平和の鐘

を鳴らして、

ユネスコ精

神、平和の

構築、ESDの構築を図つ

て行こうではありません

か。

これこそが広島ユネス

コ、日本のユネスコの本領

であります。

「ノーモアヒロシマズ」を、

このような時こそ、ヒロシ

マは不変不滅のテーゼで、

日本や世界の期待を外す結果

となつたことは残念です。

このように時こそ、ヒロシ

マは不変不滅のテーゼで、

日本や世界の期待を外す結果

となつたことは残念です。

このように時こそ、ヒロシ

# 岡山でユネスコ現地講座

## 旧閑谷学校（特別史跡）や陶芸美術館、

## 雪舟ゆかりの宝福寺（総社市）など訪ねる

前日まで降り続いていた雨も上がり、薄日のさす六月十九日朝、現地講座は、参加者十九名で広島駅新幹線口を出発した。目的地は岡山県備前市の特別史跡・旧閑谷学校。

山陽自動車道を東へ走ること三時間。兵庫県との県境に近い閑谷の里に到着した。

閑谷学校の入口には、この日の案内役と講座の講師を努めてくださる旧閑谷学校顕彰



まずは広大な閑谷学校の全体像を勉強

保存会の日笠絃さんが笑顔で出迎えてくれた。まず、校門の前面に立ち濃い緑に覆われた周囲の山々をゆつくりと眺める。目の前を左右に長く伸びる独特な石組みの扉

の向こうには、赤い備前焼瓦をのせた大屋根の講堂がどっしりと建つ。



国宝の閑谷学校講堂

閑谷学校は三百余年の昔、備前藩主・池田光政が庶民のための学問所をこの地に建てたのがはじまり。以来今日まで当時のままの姿を残し伝える史跡で、建築物のほとんどは国宝や重要文化財に指定されている。

校門を入り芝生の庭を歩いて講堂へ進む。この日は普段は入れない講堂内の母屋（も

や）に通され、創建当時からここで学んだ人たちによって拭き込まれてきた光り輝く床に静かに正座、やがて日笠さんの講話が始まった。そして、いよいよ「論語朗誦」。論語の一節が書かれた紙を手に、日笠さんに続いて揃って声高らかに読んでゆく。「子曰く、学びて時にこれを習う…」。二十人の声が堂内に響きわたる。厳粛な雰囲気にも包まれた。朗誦のあと全員で床を箒（ほうき）で掃き、次に白布で丁寧に拭きあげて講堂での二時間の講座研修は終わった。貴重な体験に身が引き締まりながら



論語を朗誦しながら解説をしてもらう

へ。昼食のあと「備前焼伝統産業会館」と「岡山県備前陶芸美術館」を見学し帰路につく。途中、総社市の宝福寺に立ち寄る。ここは室町時代の画僧雪舟が、小僧のころ柱に縛られて涙でネズミの絵を描いたという伝説で知られる禅寺。巨木の茂るうっそうとした境内を歩き、堂宇を巡って

雪舟が小僧時代、涙でネズミを描いたという宝福寺の講堂

いにしえに想いを馳せた。総社からは一路広島へ。予定どおりに新幹線口に着した。事故もなく天候にも恵まれて現地講座を終えることが出来てほっとしている。

今回も、快くバスを提供し安全運転をしてくださった中内裕秀さんに心からお礼を申しあげます。そして、皆さんお疲れさまでした。ご協力ありがとうございました。

（文化部会 井尾義信）



雪舟が小僧時代、涙でネズミを描いたという宝福寺の講堂

特集

広島ユネスコは青少年の育成に全力で取り組みます

諸外国の生活や文化を知り、国際性高める

重点方針

青少年の意識が大きく変化している中、今、何を求め、行動しようとしているのか。

一 高校大学等におけるサークルの実態調査

二 高校・大学・青少年施設等ネットワーク事業の開催

語学講座

諸外国の生活・文化を知り語学を学ぶことで国際理解・交流を図っていく。青少年センターと共催。

① 平和公園を英語でガイド

期日/七月十八日

八月一日

毎日曜日(全三回)

十時~十二時

② はじめてのハンブル

期日/十月一日

十一月五日

毎金曜日(全六回)

十九時~二十時半

③ 高校生英会話教室

期日/十月三十日

十一月十三日

毎土曜日(全三回)

◎ 学校・団体・機関等との連携

一 語学講座の開催

二 ユネスコ活動理解のための講座の開催

三 高校生のつどい(国際理解セミナー)の開催

◎ 学校・団体・機関等との連携

す。具体的には、これから内容等をつめていきたいと考えております。

高校生国際理解セミナー(高校生のつどい)

グローバル化が急速に進む現代において、多様な文化や価値観を理解・尊重し、地球のかつ現実な視点で思考し、国際平和に貢献できる青年を育成することを目的に、青年海外協力隊に参加された方等を講師にお迎えして、現地で

国泰寺高校ユネスコ部

国泰寺高校ユネスコ部は、昨年、現在の部長・副部長が中心になって部としての活動を始めました。「人の役に立ちたい」「地球の未来を真剣に考えたい」という志の高い



ユネスコ部員と末廣先生

の生活文化や教育事情などについての講義やグループワークを行う。青少年センターと共催。また、午後からは市内中心街に出て、教育が受けられない子どもたちのために、世界寺子屋運動の一環でコアアクション(募金活動)を行う。教育部会と一緒に今年度は次のとおり計画しております。

○ 日時/十二月二十三日

(祝・木) 十時~十五時

○ 場所/青少年センター

(午後から中心街に移動)

(青少年育成部会 國田 繁)

部員が新たに加わり、現在、部員は三年生が八人、一年生が三人です。

私たちは、フィリピンのルソン島の植林活動の支援をはじめ、「ユネスコ通信」の発行やエコキャップの回収、校内の緑化など、自分たちの視線で、環境・文化・平和に関する勉強や活動をしています。昨年から大附属高校のユネスコ班とも交流をしていて、今年の文化祭では共同展示も行いました。

これからも国泰寺のユネスコの灯を絶やさないように、がんばっていきます。

(顧問 末廣鈴江)

# ESDの推進と 持続可能な社会づくり

3回シリーズ(中)

## お答えします



中山修一氏  
元日本ユネスコ国内委員  
広島大学名誉教授

### 質問1

ESDの目指すものとして、前回の号で「平和で民主的な持続可能な社会の構築に寄与する人づくり」を挙げられていますが、どんな人づくりなのか、もう少し分かり易く説明してもらえますか。

経済成長、環境の保護、生きるための安全保障をバランス良く考え、社会の仕組みを、大量生産・消費・廃棄偏重型から、持続可能な生産・消費・廃棄型へと転換させるために、発展途上国や先進国の現在と未来世代の平和で豊かな社会の実現に配慮した行動が

できる人づくりと言えます。

ESDとは、発展途上国や先進国で起こるいろいろな社会・環境・経済の変化が、現代と未来世代にとって持続可能な発展性があるかどうかを問う教育です。

### 質問2

ESDの取り組み現場で行われている内容を教えてください。それと良く耳にする「ユネスコ・スクール」との関係は？

環境教育、国際理解教育、平和教育、開発教育、食育教育、総合学習などの内容がESDの取り組み事例と言えます

### 質問3

ESDの広島県中国地方、全国における取り組みはどんな状況ですか。広島県内の実情についてユネスコ・スクールなども含めて、ESDの具体的な実践例を少し紹介していただけますか。

全国的には、国連大学高等

## ESD は国際理解や平和、環境、開発、食育、総合学習などの教育現場で展開

### 地域や途上国の今と未来に関心を持ち、課題解決に取り組む人づくりを目指す

研究所(横浜市)が二〇〇五年度から始めたESD推進拠点センター(RCE)事業と環境省が二〇〇六―七年度の二か年で実施したESDモデル地域促進事業(十四地域)が有名です。前者は、現在、全国の十四地域で進行中で、まだ増え続けています。中国地方では、岡山市京山地区のように両方の認定を受け、公民館・学校・市役所が協力して環境保全活動を中心にESD活動を進めており、国際的にも脚光を浴びている例も

あります。広島県におけるESDの実践については、ユネスコ・スクールの広大附属高等学校が群を抜いています。同校は、「国連ESDの10年」が始まった翌年の二〇〇六年度から三年度にわたり、文科省のスーパーサイエンス・ハイスクールの指定校となり成果を上げました。そのテーマ「持続可能な開発」に創造的に取り組む科学者・技術者を育成する教育課程の研究」は、まさしく学校を挙げてのESDの推進でした。現在、同校は、新しいテーマ「持続可能な消費」のもと、社会科や家庭科が中心になり、ESDのモデル授業づくりに取り組んでいます。なお、ユネスコ・スクールについての情報は、公式サイト<http://www.unesco-school.jp/>で閲覧できます。

### 前回74号3月31日付(上)の質問項目

- (質問1) 「ESD」の英訳・訳語はなんですか
- (質問2) なんか難しそうですが、何をしようとしているんですか
- (質問3) 「ESD」とユネスコの関係について、また計画発足までの経緯について
- (質問4) 「ESD」国際実施計画ベースには、ゴルバチョフ元ソ連大統領の理念なども参考にされたとうかがっていますか
- (質問5) 提案国・日本の取り組みと責任について

### 被爆電車体験 乗車会に参加して

九時、広島駅前出発、江波へ。この電車は市役所付近で被爆したもので、現在二両ある中の一両です。資料を参考に当時を追体験する。江波では旧陸軍射撃場跡、慈仙寺（現平和公園内にあった）またアメリカ人大学教授が被爆者のために、自ら建てた「シユモール会館」、そして江波山気象館



世木田寛子さん

クラーク記念国際  
高等学校教育顧問

「茶碗の湯」寺田寅彦、彼が私のお気に入り。一杯の茶碗の湯の現象もその気になって見つめると地球上の気象現象の縮図であるという。理科の授業で取り入れたことがある。地球物理学者、作家など多才な人物である。

を見学。広島への復興が多くの  
人々の支援の賜物と改めて知  
る。



広島駅前を出発する被爆電車

（平和世界遺産部会 柴田幸子）

### 大邱協会が10月に 広島へ友好訪問

二〇〇〇年に姉妹提携した  
韓国UNESCO大邱協会が  
十月十五日（金）十七日（日）  
まで五度目の友好訪問をされ  
ます。訪問団は宋承達会長ご  
夫妻をはじめ十名で構成され  
ています。  
主要な交流事業は歓迎・交  
流パーティー、平和公園見学、  
公民館、被爆者養護施設など

の訪問、会員宅へのホームビ  
ジットなどで交流を深めるこ  
とになっていきます。

また、十五日は国民宿舎湯  
来ロッジに宿泊され、農村風  
景をみて温泉につかることを  
楽しみにされております。  
広島ユネスコ協会は楽しい  
交流計画を立て、心からお迎  
えして友情の絆を太く、強く  
したいと願っております。  
（国際部会 藤井正一）

## 広島ユネスコ協会のひとと事



盧 在 洙 さん

韓国民団広島西支部  
団長

私とユネスコとの出  
会いは、二〇〇八年十  
月韓国大邱ユネスコ協  
会との姉妹協会協定調  
印式の時です。その場  
には七十名近い人がい  
ましたが、在日韓国人  
は、民団原本部長と私  
の二人だけでした。韓  
国人がいないことに

ビックリするとともに  
に、とてもはずかしく  
思いました。そこで、  
支部役員とともに広島  
ユネスコ協会に入会い  
たしました。送られて  
きたユネスコ憲章を見  
て、再びビックリしま  
した。「人の心の中  
に平和のとりでを築か  
なければならぬ」と  
いう箇所です。平和・  
国際活動の原点となる  
言葉だと思えます。座  
右の銘とすべき「真  
理」に出会ったような  
気が致します。趣味は、  
多文化共生を考えるこ  
と。54歳。

## 日誌

### （4月）

21日／機関紙を関係機関へ送

### （5月）

3～5日／「大邱の日」行事  
FF会場（平和大通り）

10日／総会資料（報告・計画）  
作成事務局（三篠公民館）

15～16日／市民交流フェスタ  
展示参加（交流プラザ）

17日／理事会 総会議案審議

（国際会議場）

22日／第四百十二回ユネスコ  
サロン「私がニューヨーク  
で感じたこと」核兵器は廃  
絶できるのか」Yehキヤ  
ンペン実行委員会事務局  
長 安彦恵里香（交流プラ  
ザ）

### （6月）

1日／広報部会（三篠公民館）

16日／平和・世界遺産部会  
（まちづくり市民交流プラザ）

19日／現地講座「閉谷学校・  
備前陶芸美術館・宝福寺」

28日／専門部会長会議

### （7月）

20日／機関紙第75号発行

31日／第四百十三回ユネスコ  
サロン「広島におけるアニ  
メーション文化の現状」広  
島国際学院大学准教授 谷  
口重徳（市民交流プラザ）